

## 令和3年度 部局経営方針

部局名	消防本部	部局長名	松木 巖生	
<b>部局の経営資源</b>	職員数 (人)	現計予算額 (千円)		令和3年度中に策定した計画 (根拠法令等)
	正職員	85	一般会計	265,442
	再任用職員	3	特別会計	
	会計年度任用職員	1	前年度繰越額(千円)	
	任期付職員		一般会計	
			特別会計	
<b>総合計画に基づく部局の経営戦略</b>	<p><b>【基本姿勢】</b>                      消防本部は、「第2次日向市総合計画」の将来像である「海・山・人がつながり 笑顔で暮らせる元気なまち」の実現に向けて、各部局と連携を図りながら各種施策に取り組めます。</p> <p><b>【総合計画・基本理念】</b>                      多様化、複雑化、高度化する市民ニーズや大きく変化する社会環境に対応しながら地域課題を解決するためには、「地域の在り方は地域が決め、地域が担う」という理念の下、まちづくりの基本理念である、「全ての人の人権が尊重されるまちづくり」(人権尊重)「市民との協働による市民が主役のまちづくり」(市民協働)「地域の活用による自立したまちづくり」(地域力活用)を推進し、様々な課題に対し市民や企業、行政が連携して解決を図っていく自立したまちづくりを進めます。</p> <p><b>【総合計画・基本目標】</b>                      4-1 消防体制の充実                      ①警防・救急体制の充実                      ・救急需要に対応するために、関係機関と連携し、救急体制の強化を図ります。                      ・消防施設や資機材の計画的な整備や適切な維持管理に努めます。                      ・救急車の適正利用について、市民への啓発活動を推進します。                      ・応急手当普及講習会を開催し、受講者の増加を図ります。                      ・消防法令違反事業所への立入検査や適切な指導を行い、違反の是正に取り組めます。                      ・住宅用火災警報器の全戸設置を目指し、消防団と連携した防火訪問や啓発活動を推進します。                      ・水難事故に迅速に対応するため、水難救助体制を見直し必要な資機材の整備を行います。                      ②消防団体制の充実                      ・消防団の必要性を市民に啓発し、消防団員の確保や消防団活動への支援に努めます。                      ・消防団協力事業所の拡大や企業への消防団活動に対する理解の促進を図ります。                      ・機能別消防団員を拡充し、若者や女性などが加入しやすい組織づくりを推進します。                      ・消防団施設の計画的な整備・更新や国の基準に基づく適正な装備品の配備に努めます。                      ・消防操法大会の開催や専門的研修への派遣など、消防団員の資質向上や活性化に取り組めます。                      ・消防団の組織再編について検討し、地域消防力の維持を図ります。</p>			

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【消防本部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
1	笑顔で暮らせる地域共生社会づくり	1 住みながら地域で暮らせる社会づくりプロジェクト 4 地域医療・救急医療体制の充実		-	3 東郷分遣所への救急車の配備など、救急体制の充実・強化に取り組みます。	消防本部	救急体制の強化に要する経費	189	・救急需要に合わせ、関係機関との連携を十分に取組活動を行う。 ・本署救急車の更新及び東郷分遣所への救急車配備に向けた準備を行います。	本署救急車の更新及び東郷分遣所への救急車配備に向けた準備	1	台	1	A	救急車両の更新については、令和3年11月26日に納車され運用が開始されました。	感染症拡大時における関係機関との連携強化の必要性。	保健所及び各医療機関と更なる連絡体制を強化し、情報の共有を図っていきます。
2	4 自然が快適な強いまちづくり	1 助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト 2 消防団の機能充実		消防団員の定数に対する充足率(年度末時点) 【R1】94.2%	1 不足する消防団員の確保や機能別消防団員の有効活用、女性消防団員の勧誘強化に取り組めます。	消防本部	-	-	・様々な活性化策で消防団をアピールし、若者や女性の勧誘につなげます。	女性消防団員の新規入団者数	30	人	6	C	令和3年度の新規女性消防団員は6名となりました。	コロナ禍で消防団の行事が中止になり消防団活動の様子等をアピールすることができませんでした。	現役女性消防団員を中心に今後の取組内容を再度協議していきます。
3				↓ 【R6】100%	2 消防団の部の統廃合などに対応した組織再編の検討を行います。	消防本部	-	-	現状維持を目指しながら、組織の再編の協議を継続します。	消防団員にアンケート調査を行い現状を把握し今後の取組を協議する	1	回	1	A	令和3年6月に、団本部、機能別消防団員を除く全ての基本団員(798人)を対象にアンケート調査を実施し629人(回答率78.8%)から回答がありました。	アンケート調査結果を参考に団員確保のための取組を協議する必要があります。	団員の増員が望ましいが、まずは団員の確保を優先して取り組んでいきます。

様式1-3 その他に取組む重点事業

【消防本部】

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	現状と課題	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果	今後の方向性
1	4 生活環境	1 消防体制の充実	① 消防・救急体制の充実	消防本部予防課	火災予防体制の強化に要する経費	189	住宅防火対策と違反事業所への指導を強化し、災害による被害軽減を図る必要があります。	・各種イベント、消防団の防火査察等を通じて住宅用火災警報器の設置、維持管理の促進を図ります。 ・事業所への査察を実施し、違反是正に努めます。	遅れ	コロナ禍でイベント等が中止になり、住宅用火災警報器の設置、維持管理の促進に遅れが出ました。	維持
2				消防本部警防課	救急体制の強化に要する経費	189	高齢化の進展に伴う救急需要に対応するため、救急業務の高度化・専門化及び活動環境の整備を図る必要があります。	・救急救命士の養成及び救急隊員として必要な資質・技術の向上を目的とした研修等へ職員の派遣を行います。 ・救急活動に必要な救急資器材の確保及び維持管理を行います。 ・救急需要に合わせ、関係機関との連携を強化します。	その他	・新型コロナウイルス感染症の影響により一部研修が開催されませんでした。	維持
3				消防本部警防課	救助・警防体制の強化に要する経費	190	複雑多様化また大規模化する災害に対して、技術の向上及び資器材の高度化を図る必要があります。	・消防活動に必要な資格や技術の習得のため各種研修への職員の派遣及び資器材の整備を行います。 ・令和7年度中に潜水器具を用いた救助活動が運用開始出来るように、必要な資格取得研修へ派遣及び潜水技術向上のための訓練や資器材の整備に取り組みます。	完了	・県外での研修については、新型コロナウイルス感染症の影響で遅れが生じたが年度内に派遣することができました。	拡充
4			消防本部総務課	消防団活性化の推進に要する経費	187	一部地域では人口の減少により、団員の確保が困難になり団員の高齢化もすすんでいます。	消防団員の資質の向上や消防団活動の活性化を図り消防団をアピールすることで消防団員の確保に努めます。また、女性消防団員の入団を促進します。	その他	コロナ禍もあり、消防団の活動をアピールしながらの消防団員の確保は出来なかったが、消防団員の団員報酬や出勤手当の改正を行うことは出来ました。	維持	
5			消防本部総務課	非常備消防装備の充実に関する経費	188	財政的に厳しい状況から、消防団の装備の充実が困難になっています。	消防団活動に必要な装備品の更新や充実に取り組みます。	計画どおり	県の補助金を活用して、団員の活動服(80着)、消防ホース(30本)、吸管(4本)を整備しました。	維持	

様式1-3 その他に取組む重点事業

【消防本部】

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	現状と課題	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果	今後の方向性
6	4 生活環境	1 消防体制の充実	② 消防体制の充実	消防本部総務課	非常備消防の活動に要する経費	188	消防団員の確保のためにも処遇や活動環境の改善が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議や研修等への積極的な参加を促し消防団員の資質の向上を図ります。</li> <li>・団員の処遇や活動環境の改善に向けた協議を継続します。</li> </ul>	その他	消防学校での消防団研修は、コロナ禍もあり1名の派遣だけになりました。	維持
7				消防本部警防課	非常備消防施設の充実に要する経費	188	地域防災の要である消防団活動の拠点施設である消防団機庫の建て替えや経年劣化した消防団車両等の更新の必要があります。	消防団活動の拠点施設である消防機庫の建て替えを行います。	計画どおり	第3分団第9部の消防機庫の建設を行いました。	維持

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【消防本部】

番号	基本方針	取組項目	所管課	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果
1	市民に信頼される行政サービスの提供	広報・広聴活動の充実	—	SNS等の各種広報媒体を活用して、消防本部や消防団の活動や災害情報を発信します。	その他	消防団活動の情報配信はコロナ禍で行事が出来なかったため配信できませんでした。
2			—	市民からの救急要請を始めとする、各種要望に適切に対応します。	その他	市民等からの要望のあった応急手当の指導については、新型コロナウイルス感染症の影響により対応できない時期がありました。
3		職員の育成	—	消防学校での研修や消防活動に必要な資格取得による能力向上に努めます。	遅れ	救急に関する研修については、コロナ禍の影響により一部開催されませんでした。
4		情報公開と個人情報の保護	—	情報開示請求に対する適切な対応や、消防業務で知りえた個人情報の漏洩防止に努めます。	その他	1件の開示請求がありましたが、関係部局と連携して適切に処理できていました。
5	効果的・効率的な行政経営の推進	計画的な行政経営の推進	—	水防協議会事務の防災推進課への移管に取り組みます。	遅れ	事務の簡素化を含め移管について協議を行いました。が、完全移管に至りませんでした。
6		行政運営の効率化の推進	—	・救急車内から医療機関への映像を含む情報伝送システムの活用を継続します。 ・ドローンによる映像情報を活用した消防活動を行います。	計画どおり	・救急車内から医療機関への情報伝送システムについては問題なく活用できました。 ・現場でのドローン運用が開始されました。
7			—	各課で事務の分担を行い、時間外勤務や休日出勤の改善を図ります。	計画どおり	各課で会合を行い、時間外勤務や休日勤務の改善を図りました。

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【消防本部】

番号	基本方針	取組項目	所管課	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果
8	未来につながる 財政運営	適正な財政 運営	-	現在の消防団体制を維持するためには、消防団運営補助金は必要不可欠です。	計画どおり	適切に執行できました。